

丹沢たかし活動報告

市川三郷町市川大門1227 TEL/FAX 055-272-0413 丹沢たかし後援会



ごあいさつ

6月に梅雨明け宣言があり、水不足の夏を心配した日から一転、広い範囲で平成最悪の豪雨災害が発生しました。「異常気象による災害」が毎年のように繰り返される日本列島となっています。

広島瀬戸内海の島に住む知人が、浸水と断水の被害を受けました。また、少し前に発生した大阪北部地震では、大阪に住む娘の家も居間や台所の棚から物が落ち、危うく怪我をするところでした。

山梨は全国でも災害が少ない県ではありますが、いつ・誰が被害にあっても不思議ではありません。公助だけでなく、自助・共助による備えを怠らず、災害に合うことは逃れられなくとも、「防災」・「減災」への最大限の取組みの必要性を改めて感じています。

さて、ご支援いただき市川三郷町議会議員として務めてきた任期が、今年9月で満了となります。この間、一般質問や委員会審議において、様々な提案や質問をしてきました。より魅力あるまちづくりのために、今後も取り組んでいく決意ですので、更なるご支援を頂きたいと思っております。

町議会議員選挙日程

次回一般選挙予定

- 9月18日（火） 告示日
- 23日（日） 投開票日

議員定数削減

- 現行の16名を2名削減し、14名とすることを決定しました。
- 次回一般選挙から適用となります。
- 平成22年選挙時に18名から16名に削減しています。

所属委員会等

- 土木環境常任委員会（副委員長）
- 議会広報編集特別委員会
- 議会改革特別委員会
- ふるさと夏まつり実行委員会
- 環境審議会
- 土地利用審議会
- 連携型県人会・市川三郷町ゆかりの会「りんどう」理事（元設立準備委員）

第1回 kyonan フォトロゲイニング with 歌舞伎&落語大会に参加

- 6月23日（土）平塩・文化と武道の館をスタート&ゴールとして開催。
- 約130名参加（県外からも多数）。
- 来年は富士川町を主会場として開催。

平成30年6月定例議会の概要

会期 6月4日(月)～15日(金)の14日間

条例の制定・改正、平成30年度一般会計・特別会計補正予算、契約締結など、32議案が提出され、いずれも原案どおり可決、承認されました。

主な議題等

金額：万円未満四捨五入

●30年度一般会計補正予算

3億5043万円追加（補正後予算 124億8928万円）

- 新施設整備工事費追加 2億4678万円
*当初予算 2億8806万円；資材費高騰等により入札不調となったため
- 第11分団（六郷楠南地区）消防詰所新築事業費追加 2221万円
- 町道竈鼻川浦線道路整備事業費追加 1951万円
- 若者定住促進住宅補助金追加 1238万円
*当初予算 11件 814万円；追加 21件見込む
- 農道水路改修事業費追加 900万円
- 富士見保育所用途変更改修事業費追加 756万円
- つむぎの湯自動制御機器更新工事費追加 548万円

●こども館設置及び管理に関する条例制定

- 市川保育所と富士見保育所が8月統合することにより、富士見保育所は廃止となるが、富士見保育所施設を今後「こども館友優」として学童保育に使用するための設置管理条例制定。

●区長及び組長設置に関する条例制定

- 町合併以降、旧三珠町の条例により暫定運用してきた。今回、全町的な区長・組長制度の運用条件を整備し、明確化した。

●議会の議員の定数を定める条例改正

- 議員定数を、2名削減し、14名とするための条例改正。議員発議による。

●「過疎地域自立促進計画」の変更

- 平成33年3月までを対象とする「過疎地域自立促進計画」に、防災拠点や観光施設などの人が集まる場所を対象とする「公衆無線LAN環境の整備事業」を加える。
- 今年度から、町内の小中学校、役場三珠支所・六郷支所のW I - F I環境を整備する。

●契約締結

- ①新施設電気設備工事請負契約の締結
 - 契約金額（消費税込）2億5812万円
 - 契約先 中楯電気・若尾電気・南伸電気（共同企業体）
- ②新施設機械設備工事請負契約の締結
 - 契約金額（消費税込）2億4840万円
 - 契約先 渡辺工業・雨宮工業・水電社（共同企業体）
- ③新施設舞台設備工事請負契約の締結
 - 契約金額（消費税込）1億 368万円
 - 契約先 丸茂電機



旧役場跡地から市川小学校に移設された二宮金次郎像（校庭側 校舎前中央）

■ 一般質問 6月議会で以下の質問を行いました。

* 詳細は市川三郷町ホームページ「議会会議録」に掲載されます。

◆《地域防災力強化に向けて》

Q: 「山梨県防災基本条例」が今年4月に施行となった。条例では、県民個々の防災意識向上や防災組織等への参画など、個人の主体的・積極的な取組みを求めている。また、県と市町村との緊密な連携を図るとしている。今後の町の取組みは。

A: これまで町として進めてきた自助・共助に関する啓発活動を強化していく。具体的には、家具の固定化、食料等の備蓄の必要性の周知、自主防災組織の充実や防災ミニ講座の実施などにより地域防災力の強化に取り組む。

Q: 南アルプス市では、市内の防災関連団体で構成する「防災連絡協議会」を設立した。本町でも同様組織の設立を検討してはどうか。

A: 当町では、防災リーダー養成講座修了者による任意団体の「減災いちかわみさと」が組織され、定期的情報交換や講演会実施などの活動を行っている。町が事務局となっており、自主防災会等の連携方法などを協議していく。

Q: 家庭内や近所での防災意識の共有化を図り、防災訓練時に活用できるような防災関連情報を取りまとめを作成し、全世帯に配布してはどうか。また、民間団体などの意見や視点を取り入れた内容として作成することが求められる。

A: 2年前にも同様質問を受け、現在素案作りを進めている。分かり易いマニュアルとしての取りまとめに向けて、各種組織との連携により進めていく。

Q: ハザードマップの更改が今年度予定されている。見直しの要因は何か。周知方法は。

A: 平成27年度の水防法の改正を受け、国交省や県により富士川（釜無川含む）・笛吹川・芦川の「洪水浸水想定区域」が見直されたことによる。平成31年2月末での完成を目指し、各世帯への配付や町ホームページへの掲載などによる周知を考えている。

◆《市川大門中央通り道路表示について》

(1) 逆走防止に向け、道路面に矢印と制限時間の表示を。

Q: 中央通りは一方通行となっており、当面解除の見込みはない。また、歩道が整備され、ある程度の広さがあることや道路標識のわかりにくさから、スピードを出した逆走車が多く危険である。この危険回避策として、「道路面に、『一方通行の方向を示す矢印』と『対象時間（7時～22時）』を表示する」ことが有効と考えるが。

A: 道路面への表示が可能かどうか、警察・公安委員会等への照会・協議を行う。また、進入禁止等の標識についても見やすい標識への付け替え設置も要望していく。

(2) 「ウォーキングロード」（散歩道）として位置づけるため、歩いた距離が把握できる様、例えば100mごとに距離の表示を。

Q: 以下の2つの狙いを持つものとして提案する。

- ①健康づくりを推進する町としてアピールし、話題性を高める方策として
- ②ベンチの設置など散歩に適した環境であり、中央通りに人を呼ぶ方策として

A: 表示可否・内容について関係機関と協議し、可能であれば実施に向け検討する。

Q: 町では「ルンルン・マップ」として、市川大門地区では三郡橋周辺を散歩のモデルコースとして設定している。中央通りを散歩のモデルコースの対象として設定できないか。

A: 新設高校開校後の車や人の交通量を見極め、安全性を確認しながら検討する。

■議会「一般質問」履歴

これまでの議会で、以下の一般質問を行い、町に対する提案や町の方針確認を行いました。

開催年月	質問タイトル	質問概要	町の対応の方向性
平成 27 年 3月	町第2次総合計画策定に関する取組みについて	第2次総合計画策定の基本的考え方を確認。戦略的な観点での策定を要望	—
	市川三郷町合併10周年記念事業について	町合併10周年記念の予定事業は何か質問	—
	「市川三郷町出身者の会」の設立について	市川三郷町全体を対象とした出身者の会（県人会）を首都圏で設立することを提案	◎ 昨年5月 設立総会 開催
9月	「市川三郷町出身者の会」を連携型で設立を	町出身者の会は、町民も対象とする「連携型」で設立することを提案	
12月	町内小中学校における「いじめ対策」について	町内小中学校における現状と対策への取組み体制・状況を確認	—
	まちの花「りんどう」で甲斐源氏発祥の地の発信強化を	町の歴史的な価値を発信するため「りんどう」を町内で普及させる活動を提案	▼
平成 28 年 3月	「神明の花火大会」での観覧場所整備について	安全対策・景観面の考慮と、より多くの来場者受入れのため観覧席整備を提案	○
	「ふるさと納税制度」のより一層の活用に向けて	ふるさと納税制度の有効活用に向けて、返礼品の充実や利便性向上策実施を提案	◎
6月	「家庭版防災マニュアル」の作成について	各家庭や地域での防災力強化のため、「家族版防災マニュアル」策定と全世帯配付を提案	○
	本町の主要施設の耐震化基準について	町内の避難所施設などの主要施設の耐震化対策の実施状況を確認	—
	福祉避難所について	町の「福祉避難所」の「指定状況」・「課題事項」・「今後の整備方針」を質問	—
9月	「神明の花火大会」時の「イベント民泊」導入について	多くの来町者がある大会時の経済効果を高めるため「イベント民泊」制度の活用を提案	▼
12月	市川大門中地区公民館施設の使用中止に伴う今後の対応	市川代官所跡地である歴史的価値を重んじた施設として、周辺を含めた整備を提案	○
平成 29 年 3月	空き家対策への取組みについて	空き家及び空き地対策の早期具体化に向けた必要性を提起	○
9月	町公共施設整備期間中における利用者対応について	新設高校建設に伴う新施設建設期間中の体育館・町民会館・図書館等の利用者対応を確認	—
	市川保育所園舎取り壊し対応について	現市川保育所園舎取り壊しは、町対応ではなく、県負担での対応とするよう要望	×
平成 30 年 3月	町内移住者交流会の開催について	町内への移住者と既存の町民との交流を図り、町の魅力発信につなげる会の開催を提案	▼
	「学校法人日本体育大学」との協定内容について	日本体育大学との「体育・スポーツ振興に関する協定書」締結内容と活動方針を質問	—

◎ 対応済 ○ 前向き対応 ▼ 消極的 × 否

* 詳細は町ホームページ「議会会議録」に掲載されています

宛先などに誤りがございましたら、なにとぞご容赦ください。なお、お知らせいただければ幸いです。